

県議会 おおいた

No. 72

平成20年11月発行
大分県議会

編集 大分県議会事務局
大分市大手町3丁目1-1
☎ 097-506-5035
(ダイヤルイン)
FAX 097-506-1785

題字は、大分県立大分舞鶴高等学校2年 御手洗 紗憂実さんの作品です。

■県議会ホームページURL (アドレス) <http://www.pref.oita.jp/21000/>

国体を振り返って	1
私たちも応援しました	2
主な質問答弁要旨	4
県議会の動き	6



おおいた国体開会式



大分県議会議長
阿部 英仁

大分県では、昭和41年に「剛健国体」をテーマに第21回大会が開催された。私は、その時、剣道の出場候補選手として日々練習に明け暮れた。結局出場することができず、悔しい思いをしたことが今は懐かしく思い出される。

今年42年ぶりに本県で2回目となる第63回国民体育大会「チャレンジ！おおいた国体」と第8回全国障害者スポーツ大会「チャレンジ！おおいた大会」が開催された。

「ここから未来へ 新たな一歩」を合い言葉に、「簡素な中にも、おもてなしの心のこもった、夢と感動にあふれる大会」を目指した今国体では、県民が一致団結し、県議会も全面的に応援し、念願の天皇杯・皇后杯を獲得した。武道関連種目が総得点の2割を占め、今回の躍進には武道競技が大きな役割を果たした。

おおいた大会でも獲得メダル数2位の好成績を収めた。この大会の開催が、今後の大分県スポーツの振興に寄与することを強く願うとともに関係者に深く感謝したい。



大分県議会副議長
近藤 和義

2巡目国体は、天皇杯と併せ前回は獲れなかった皇后杯も手中にして、総合優勝ができた。行革が進む中で、また新たな国体改革も求められて、初めて実行された、チャレンジ大分国体は「簡素・おもてなしの心と手づくり選手による国体制覇」など4つの目標を掲げて、指導者や選手はもちろんのこと、県民総参加で目標をクリアすることができたことは県民あげての喜びである。

特に高校生を中心に、多くの競技で県内から有望な選手を育てることができたことは、本県のスポーツ振興のみならず、県政の躍進にも大きく通じるものと思う。

わが由布市においても5競技が開催され、成年男子銃剣道の優勝をはじめ、ラグビー少年男子の粘りの準優勝など、市民の大応援で大会が盛り上がった。

競技会場では、地元住民がだんご汁などの郷土料理を振る舞うなど、遠来の選手にも温かい声援を送り、民泊と共に大きな交流の輪が広がった。

私たちも応援しました



天皇・皇后両陛下をお迎えして

古手川 茂樹議員（津久見市）
 県民総参加 めじろん国体おめでとう！何事にもチャレンジ。今後の大分の発展に期待します。

牧野 浩朗議員（別府市）
 両大会の成果を県民スポーツ向上、ボランティア団体育成、めじろん活用などに生かそう。

嶋 幸一議員（別府市）
 障がい者バレーを観戦し、そのひたむきな姿に感動した。支えた多くのボランティアにも感謝。

毛利 正徳議員（中津市）
 感動をありがとう。県民総参加、汗と涙の結集が大成功。もつと元氣あふれる大分県を目指そう。



選手宣誓

濱田 洋議員（玖珠郡）
 すばらしい開・閉会式。天皇杯皇后杯獲得おめでとう。成果を県スポーツの充実に生かそう。

三浦 公議員（国東市・東国東郡）
 祝・天皇杯獲得。大いに盛り上がった大分国体、携わって頂いた皆様方に心から感謝。

元吉 俊博議員（宇佐市）
 天皇杯獲得の国体、障害者大会共に、大分方式導入、全国に範を示す、素晴らしい大会だった。

末宗 秀雄議員（宇佐市）
 相撲競技の民泊受け入れ、地区が一体となり、歓迎、応援し、心に残る思い出の国体となった。

佐々木 哲也議員（豊後大野市）
 国体改革に取り組み、ボランティアが支え、県民が一つになり夢と感動を与えた国体だった。



成年男子 柔道

御手洗 吉生議員（佐伯市）
 地元長陽会は成人女子9人制バレーで優勝！天皇杯皇后杯獲得に貢献。県民の応援に感謝！

桜木 博議員（日田市）
 金をかけない国体で、天皇・皇后杯が取れ、県民挙げての開催が大成功に終わり万々歳！

麻生 栄作議員（大分市）
 ハンドボール役員としてジュニアから育成した少年男女・県出身選手の大活躍に感動！

首藤 勝次議員（竹田市）
 歌は時代を記憶する。テーマソング「めじろんダンス」は感動の場面を今も鮮明に呼び起こす。

田中 利明議員（佐伯市）
 国体簡素化の歴史的転換点の中で見事な成果達成した関係者に敬意と感謝を申し上げます。

大友 一夫議員（中津市）
 国体改革の中、盛り上がりにも満たされた大会が出来た事に感謝！多くのボランティアに感謝！



空手競技の応援幕

井上 伸史議員（日田市）
 チーム大分一致団結、県民の熱い声援で天皇・皇后杯獲得。大分の底力を発揮、ホッとしました。

淵 健児議員（大分市）
 成功を共に喜び、この自信を今後を生かそう。300億円の投資が530億円の効果を生むため今後が大切！

佐藤 健太郎議員（速見郡）
 選手・ボランティア・役員・県民も優勝が最高の喜びであり、この意気込みを今後の県政に。

志村 学議員（臼杵市）
 手づくり県選手団が力を発揮、天皇杯獲得、大成功。一過性でなくスポーツ振興、発展の大分県に。

荒金 信生 議員（別府市）

実際に会場で応援してみても、特に地元大分の選手の情熱を肌で感じる事ができた。

佐々木 敏夫 議員（豊後高田市）

バレー成年女子が地元であり、豊後高田市出身の藤本・財前両選手が出場、優勝。感動した。

玉田 輝義 議員（豊後大野市）

地元から団体、障スポに2人選手が出場、大健闘。秋田県少年女子剣道の民泊も思い出深い。

深津 栄一 議員（佐伯市）

多くのボランティア・関係者の方々、おもてなしの対応や準備などお疲れ様でした。

酒井 喜親 議員（日田市）

感動と勇気をありがとう。めじろんダンスの合唱により大分県選手団の入場は最高でした。



宇佐市 相撲競技の民泊交流



成年女子9人制バレーボールで優勝した大分県チーム

首藤 隆憲 議員（大分市）

元氣と明るさをくれためじろんダンスに心から拍手を送ります。

平岩 純子 議員（大分市）

関わられたすべての人たちに感謝申し上げます。この感動と躍動を次につなげましょう。

吉富 幸吉 議員（中津市）

県民総参加で大成功の国体でした。地域の協力者、ボランティア県民皆様にお礼申し上げます。

佐藤 博章 議員（別府市）

今大会は「めじろん」の活躍で成功した。めじろんに変わるヒーローの誕生を期待したい。

吉田 忠智 議員（大分市）

WL（重量挙げ）協会長として貢献できたが、県体協役員としては怪我で行進できず、残念。

梶原 九州男 議員（大分市）

ボランティアの活動が成功のもと、心から感謝する。この感動をこれからの県政に生かしたい。

賀来 和紘 議員（宇佐市）

夢と可能性を求める選手団。夢を支えた民泊協力会、ボランティア。これぞ国体だったのだ。

江藤 清志 議員（由布市）

ライフル射撃協会大分県会長として参加。6年ぶりに11得点をあげる事ができた。

久原 和弘 議員（臼杵市）

テーマは達成した。大事なことは「ここから未来へ、新たな一歩」をどう踏み出すかだ。



閉会式

小野 弘利 議員（国東市・東国東郡）

「改革国体」を目指して取り組んだ県民の熱い心を今後の県政に生かすことが県議会の責任。

内田 淳一 議員（大分市）

天皇杯皇后杯の獲得おめでとう。関係者のご努力に敬意を表します。更なる県勢の発展を期したい。

河野 成司 議員（大分市）

国体で培ったおもてなしの心を一層広げ、全国の人々の「ふるさと」大分へと飛翔を！

伊藤 敏幸 議員（別府市）

チーム大分最高の大会。「感動・感激・感謝」の連続。「やればできる」を今後に生かそう。

竹中 万寿夫 議員（大分市）

夢と感動、大分県民にチャレンジする勇気と元気を与えてくれた。皆さん本当に有り難う。

衛藤 明和 議員（杵築市）

とにかく感動した！大活躍の郷土選手と大会を支えたボランティアに心から敬意を表したい。

高村 清志 議員（大分市）

開閉会式等多くの感動とともに、支える側に徹した皆さんの笑顔とぬくもりが忘れられない。

堤 栄三 議員（大分市）

大変感動に包まれた国体とおおいた大会で、県を越えた友情と連帯はいつまでも心に残る。

平成20年第3回定例会

第3回定例会県議会は、8月27日に開会し、9月10日までの15日間にわたり開催した。

開会后、牧野議会運営委員長から「県民不信を招くことのない議員活動を誓う宣言決議」の提案があり、全会一致で可決した。

広瀬知事から、将来の大分県のためチャレンジしなければならぬ3つの課題①原油高騰対策、②教育行政の再生、③おおいの国体・おおいの大会の成功について総力を挙げて取り組むとの決意が示され、43億円余りの一般会計補正予算案等の提案理由説明があった。

9月2日から3日間にわたって行われた一般質問には、12名の議員が登壇し、福祉、医療、農林水産、教育等の問題について、質問を行い活発な議論が行われた。特に、教育改革等教育問題には、8名の議員が質問を行い、大分県教育の再生を願う熱い議論を交わした。

9月4日には、決算特別委員会が設置され、井上委員長をはじめ、13名の委員が決算に係る審査を行うこととなった。各常任委員会は、9月5日に

開催し、付託された議案・請願について具体的な審査を行った。

9月8日には、教育委員会汚職事件の集中審議のため、文教警察委員会を開催した。委員7名の外、委員外議員27名も参加し、今後大分県教育の正常化に向けてスピード感を持って取り組むよう教育委員会に求めた。

具体的な監視機能の強化策を検討するため、「議会のチェック機能強化検討委員会」（安部省祐座長ほか委員7名）が最終日に設置された。

同じく最終日には、各常任委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、知事提出議案34件のうち17件を原案どおり可決し、決算に係る議案17件は継続審査となった。請願2件は不採択となった。その後、議員提出議案8件が提出され、5件を可決し、すべての審議を終了した。

一般質問

質問項目は、一人2項目を掲載しています。



自由民主党
田中 利明 議員

▼農林水産業の振興
▼教育改革



県民クラブ
玉田 輝義 議員

▼地域医療
▼教育委員会汚職事件



自由民主党
濱田 洋 議員

▼農業問題
▼観光の振興



自由民主党
末宗 秀雄 議員

▼教員採用試験等
▼行財政改革プランの成果



県民クラブ
吉田 忠智 議員

▼おおいの国体・おおいの大会
▼原油・原材料価格高騰対策



自由民主党
麻生 栄作 議員

▼医師の人材確保
▼農林業従事者等の人材確保



自由民主党
三浦 公 議員

▼指定管理者制度
▼職員の不祥事への対応



県民クラブ
梶原九州男 議員

▼財政の健全化と地方自治のあり方
▼ワーク・ライフ・バランス社会



自由民主党
嶋 幸一 議員

▼国体とスポーツ振興
▼観光振興



自由民主党
桜木 博 議員

▼阿蘇火砕流による埋没林
▼障害者自立支援法の見直し



公明党
伊藤 敏幸 議員

▼教員採用選考試験
▼学校施設の耐震化



県民クラブ
平岩 純子 議員

▼教員採用試験汚職事件
▼中学校30人以下学級



問 原油等価格高騰対策の補正予算案の基本的な考え方と目的及び効果は

答 今回の補正予算案では、原油等価格高騰による農林水産業者の窮状に対し、緊急的な支援を行うことと農林水産業の構造改革に繋がる施策を中心に組み立てた。具体的には、ハウス栽培などの重油代替燃料使用暖房機や油・薪兼用のしいたけ乾燥機、漁船の省エネ機器等の導入に対する助成や無利子融資制度を創設するなど、原油等高騰対策として20億4千5百万円の予算案を計上した。

脱石油に向けた生産構造への転換が促進され、生産者の持続的な経営を後押しすると考える。

問 ワーク・ライフ・バランス社会への取り組みは

答 長時間労働の見直しや子育て環境の整備等を図るため、労使だけでなく、社会全体で取り組む事が重要。事業主に対して、時間外労働の削減や

年次有給休暇取得の促進など、働き方の見直しを図るよう普及啓発に努めている。また、お

いた子育て応援団という企業認証制度の推進や、両立支援ガイドブックの配布、セミナーの開催等、働き方の意識改革を促し、子育てしやすい環境整備を図っている。

子育て応援団

- パパママとくとくジョブ** 18歳未満の子どもがいる家庭に料金の割引や特典などのサービスを提供していただく企業・店舗 **得々!**
- パパママおでかけサポートジョブ** 授乳室、おむつ替えコーナー、多目的トイレ、ベビーカーの貸し出しなど子育て家庭にやさしい設備やサービスを提供していただく企業・店舗・施設等 **楽々!**
- しごと子育てサポート企業** 自社の従業員の仕事と子育ての両立を支援していただく企業や事業所 **安心!**

おおいた子育て応援団 <http://oitakosodate.net>

問 教育委員会制度改革の今後の取り組みは

答 教育委員が主体的に責任を持つて教育行政を行っていくことが必要。そのために大事なことが3点ある。

- ①事務局職員、市町村教委、学校現場との教育課題に係る共通理解と情報の共有に取り組む。
- ②県教委と市町村教委が連携しながら教育行政を行う体制を強化する。

③委員自ら学校や社会教育施設に出向き、教職員や保護者との意見交換を行い、教育現場の実情を把握する。

これらを通じて地域の思いを施策に反映するとともに、全ての教育関係者が一丸となって大分の教育再生に向けた改革を実行する。

可決・承認された議案 (議員提出)

決議 (1件)

- ▽県民不信を招くことのない議員活動を誓う宣言決議

意見書 (5件)

- ▽私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書
- ▽郵政三事業の利便性の確保を求める意見書
- ▽ワーク・ライフ・バランス社会の推進を求める意見書
- ▽学校耐震化に関する意見書
- ▽太陽光発電システムのための普及促進を求める意見書

可決された議案 (委員会提出)

条例関係 (1件)

- ▽大分県議会議員の報酬及び費用弁償条例等の一部改正について

規則関係 (1件)

- ▽大分県議会会議規則の一部改正について

議決事件 (1件)

- ▽地方自治法第100条第12項の協議又は調整を行うための場について

可決・承認された主な議案等 (知事提出)

予算関係 (5件)

- ▽平成20年度大分県一般会計補正予算(第1号) **ほか**

条例関係 (9件)

- ▽大分県立学校の設置に関する条例の一部改正について **ほか**

その他 (3件)

- ▽工事請負契約の締結について

※意見書は、議長名で衆参両院議長、内閣総理大臣及び担当大臣あて送付しました。

県議会の傍聴

本会議や委員会の傍聴をご希望の方は、日程を確認の上、当日、県議会受付までおいでください。なお、本会議場での傍聴については、盲導犬等の同伴ができません。手話通訳又は要約筆記を希望される方は、本会議の前日までにお申し出ください。

■問い合わせ先：議会事務局議事課
☎097-150615021

県議会の動き

今後の動き

◆特別委員会開催

■決算特別委員会

- 10月16日(木)企業会計
- 17日(金)一般会計・特別会計
- 21日(火)～24日(金)決算審査
- 11月7日(金)県内調査
- 25日(火)採決及び審査報告書の検討・まとめ

◆出前県議会「議員と語るライン中部地域」の開催

- 日時 1月20日(火) 13時～15時30分
- 場所 由布市 クアージュゆふいん テーマ 大分市、由布市の地域振興 傍聴 どなたでも傍聴できます。是非ご参加ください。

議会事務局政策調査課

☎097-50615034

◆平20年第4回定例会の日程(予定)

- 12月2日(火)開会
- 8日(月)本会議(一般質問)
- 9日(火)本会議(一般質問)
- 10日(水)本会議(一般質問)
- 11日(木)常任委員会
- 16日(火)閉会

これまでの動き

◆特別委員会の動き

- 8月28日(木)
- 地域・産業活性化特別委員会
- ・農林水産業の振興

農業の担い手対策、農村地域の資源等

9月9日(火)

■行財政改革特別委員会

- 指定管理施設の状況、民間活力の活用(NPOとの協働) 県営国民宿舎コスモス荘等
- 安全安心な大分づくり特別委員会
- 福祉・地域医療
- 豊後大野市の地域医療を守るための公立病院の統合等

■おおいたブランド推進特別委員会

- ・青少年の人材育成、地域資源の活用等

基本計画議決条例の

素案まとまる

政策・活性化協議会(近藤和義会長ほか委員8名)は、県長期総合計画や分野別計画などの策定等を議決対象にする「県行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例」の素案をまとめた。県計画に立案段階から関わり、より実効性を高めるのが目的だ。

同協議会は今年3月、阿部議長からの提案を検討するために全5会派で発足。これまで政策条例・提言等を検討しており、同条例がその第1号になる。12月定例会での提出を予定している。

第2回議員出前講座

～豊後高田市立香々地中学校

10月16日、豊後高田市立香々地中学校(安松正則校長)で今年度第2回目となる出前講座を行った。講師は、近藤和義副議長と堤栄三議員の2人。全年77名を対象に県議会の仕組みや条例、予算などについて説明し、その後生徒からの質問に答えた。



最後に生徒会長の池田潤太さんが、「議員を辞めたいと思ったことはない、困難があるとフアイトがわくと言っていたことが印象に残った。大人になつたら、必ず投票に行きたい」と謝辞を述べた。

近藤副議長が「今日は、ふれあいが出て大変うれい。学校に入つたときから元気な挨拶をしてもらつた。挨拶を率先してできるということとはとても積極的だということ。今後も自分を信じて地域に貢献してください」と締めくくった。

生徒の声

- ・僕たちからの質問にしっかりと丁寧に答えてくれたことがうれしかった。(中山徹洋さん)
- ・自分たち中学生一人の教育費に年間100万円のお金が使われていることに驚いた。無駄にしないよう、一所懸命勉強していこうと思った。(安藤圭哉さん)
- ・県議会は、大切なお金と知つた。傍聴席から議会の様子を見てみたい。(阪本真輝さん)
- ・香々地のような地方を活性化するため、私たちでもできることが何かないか考える。(松原由美さん)

県議会本会議中継

インターネットによる中継のほか、次のケーブルテレビ局で中継を行っています。

- 大分ケーブルテレコム
 - 大分ケーブルネットワーク
 - CTBメディア(別府市・日出町)
 - 臼杵ケーブルネット
 - KCVコミュニケーションズ(臼田市)
- (放送時間等は各局にご確認ください)

編集後記

県民総参加で盛り上げた国体特集した。民泊等、温かいもてなしは人々の心に刻まれた。交流の輪が広がる事に期待。(貴)